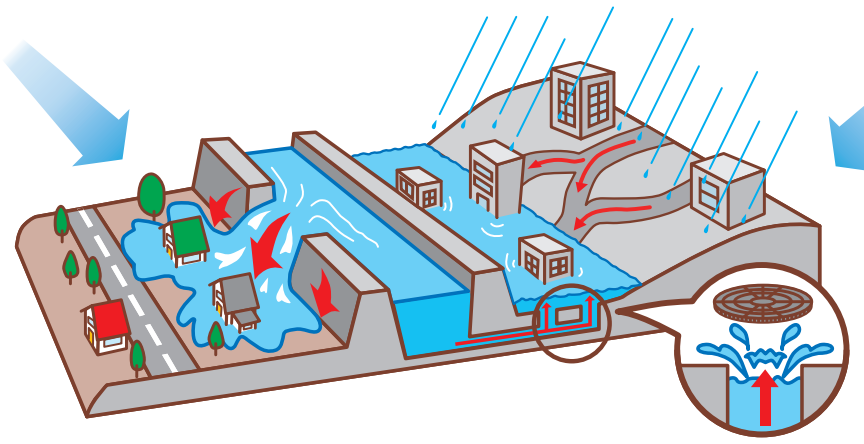
洪水・浸水害について

氾濫の種類

外水氾濫

河川の水位が上昇し、堤防を越えたり破堤するなどして堤防から水があふれ出す。



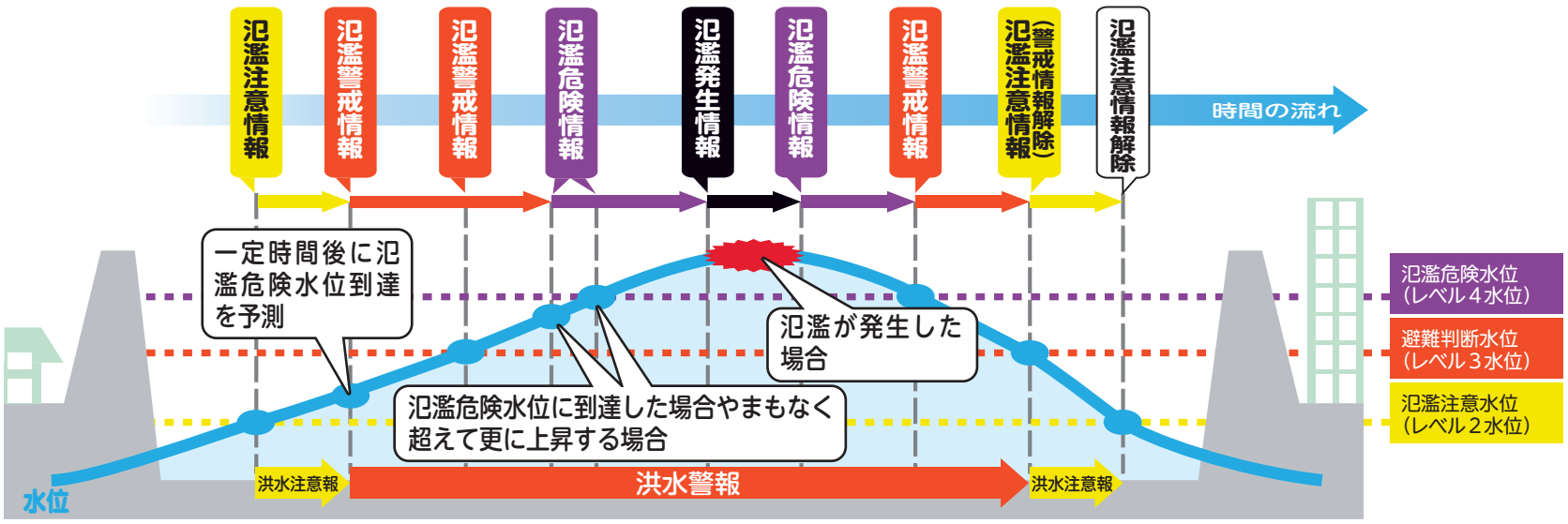
内水氾濫

下水道・支川等の雨水排水能力を上回り浸水
あるいは
河川水位の上昇により、下水道・支川等から河川へ放流できず浸水

出典：国土交通省ウェブサイト(https://www.mlit.go.jp/river/bousai/olympic/)を加工して作成

河川の危険水位と洪水予報

奥尻町内の河川は危険水位が設定されていないため、町で状況を確認判断して避難に関する情報を発令します。(令和６年４月１日現在)



出典：気象庁ホームページを加工して作成

避難行動のポイント、危険な場所

1.情報の確認

●雨や台風などの状況を、テレビ・ラジオ・インターネットなどで確認し、最新の気象情報や避難指示等に関する情報を入手しましょう。

・川の防災情報　https://www.river.go.jp/

2.防災責任者の指示に従う

●避難のときは警察・消防・地元の防災責任者などの指示に従って行動しましょう。独断での行動は大変危険です。

3.動きやすい服装、集団での避難

●避難するときは、動きやすい格好で、二人以上での行動を心がけましょう。

4.避難時の歩き方

●避難中はできるだけ浸水していない場所を歩きましょう。避難途中で危険を感じたら、自宅の二階以上や近所のビルに避難しましょう。

●浸水している場合には下水道のマンホールや側溝等への転落のおそれがあり危険ですので注意しましょう。

5.隣近所への呼びかけ

●お年寄りや子供、病気の人は早めの避難が必要です。近所のお年寄りや子供、病気の人などの避難に協力しましょう。情報伝達や避難場所をとりまとめておくと便利です。

6.車での避難は危険

●自動車が水に浸かると動かなくなったり、水圧で扉が開かなくなったりして大変で危険です。自動車での避難は特別の場合を除きやめましょう。

7.橋や川の近くは危険

●川が増水している場合には、川の流れが速く、橋が壊れたり流されたりして非常に危険ですので、近寄らないようにしましょう。

8.川や用水路を見に行かない

●大雨の時に、川や用水路の様子を見に行ったことで流されて被害に遭う場合があります。大雨時には絶対に川や用水路を見に行くことはやめましょう。

出典：国土交通省ウェブサイトを加工して作成